

有明高専だより

第134号
2011.6



新入生阿蘇オリエンテーションでの集合写真

校長だより／入学式	2
編入学生紹介／新入留学生紹介／留学生歓迎会	3
新任教職員紹介	4・5
特集 有明高専アーカイブ	6・7
4年生研修旅行	8・9
新入生阿蘇オリエンテーション	10

2年生研修旅行	11
専攻科新入生1泊研修／新入生歓迎行事	12
岱明寮だより	13
春季球技大会／卒業式・修了式	14
卒業生・修了生の進路／学生表彰	15
トピックス／編集後記	16

※本文中において、学生氏名の前にある英数字等は、所属クラスを表します。

(数字: 学年、M: 機械工学科、E: 電気工学科、I: 電子情報工学科、C: 物質工学科、A: 建築学科、専: 専攻科 但し、2年生は学年 - 組)

学生諸君への期待

校長 立居場 光生



今年3月11日14時46分頃に三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の巨大地震：平成23年東北地方太平洋沖地震が発生しました。この地震により強い揺れと高い津波が生じ、東北地方から関東地方の太平洋沿岸に大きな被害をもたらしました。

また、これに伴う原子力発電所事故による災害は深刻な状況にあります。この未曾有の東日本大震災は、本校で学ぶ学生諸君に様々な影響を与えたことと思います。

学生諸君は日本社会の一員としてこの大震災を受け止め、行動しました。被災した高専の学生や教職員、そのご家族の方々を支援するため、義援金募集に直ちに応じました。本校は、学生、教職員ならびに後援会と同窓会から支援への協力があり、当初見込んでいた以上の義援金を高専機構に届けました。学生諸君はもとより本校の教職員、関係者のご協力に心から感謝申し上げるとともに、本校を誇らしく思いました。

学生諸君は、被災者の方々への各自のメッセージとして、本校で学び、社会で将来活躍することについて何を伝えるか、考えてみてはどうでしょう。被災者の方々へのメッセージとして、自らの考えを述べるという想定は、各自に真摯な問いかけを誘発すると思うからです。大震災が志をもって行動することへのきっかけとなれば、これは結果

として日本を背負う若い諸君が贈る被災者への強力な支援になるとも考えられます。

66年前に敗戦を経験した、諸君と同一年の学生は、これからどのように生き、何を目指すべきかについて真剣に考え、行動したと思います。規模は違いますが、それ以来の惨事に日本は今遭遇しているわけです。ですから、学生諸君に上記の想定を提示しました。他人との比較ではなく、自らの考えをしっかりとをもって高専生活を過ごすように期待します。

さて、高専卒業生の資質・能力に対する評価が、平成23年3月に発行された文部科学時報臨時増刊号：中央教育審議会答申の中で、まとめられています。企業からは、期待通りの専門知識があり、責任感・誠実さ、コンピュータ活用能力、論理的思考力も期待以上であったと評価されています。ただ、コミュニケーション力は企業の期待をかなり下回る厳しい評価でした。これは日本人が異文化との交流に乏しく、以心伝心による相互理解に慣れているように、高専生は大学生に比べると、多様な学生と接する機会が少ないことが効いているように思われます。

学生諸君は、勉強や課題に取り組んでいる内容を他者（先生、学生など）に限られた時間内で説明する練習を定期的に試みてはどうでしょう。さらに、日本語あるいは英語により日本の歴史や文化を外国人に紹介する試みも考えられます。コミュニケーション力は物事をよく考え、自らの頭で理解することで磨かれ、知識の単なる集積だけでは身につけません。学生のコミュニケーション力アップを本校の課題と捉えています。

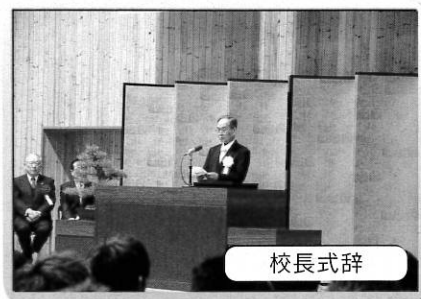
入学式

4月6日(水)

4月6日(水)10時より、本校第1体育館において、平成23年度入学式が行われました。

本科に、機械工学科42名、電気工学科40名、電子情報工学科40名、物質工学科42名、建築学科40名の合計204名が新入生として入学しました。専攻科には、生産情報システム工学専攻19名、応用物質工学専攻7名、建築学専攻6名の合計32名が入学しました。また、高等学校から4年次編入生として合計12名が、ウガンダからの留学生1名が3年次編入生として編入しました。

校長による入学許可や式辞、大牟田市長および荒尾市長による祝辞、1年生代表として電気工学科の宮崎稼瑚君および専攻科生代表として生産情報システム工学専攻の永田福人君による誓詞、そして職員紹介等が行われました。



校長式辞



入学式の様子



新入生誓詞



専攻科生誓詞

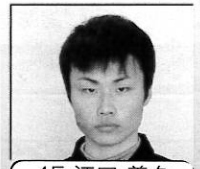
編入学生紹介



4M 田尻 大樹
(熊本工業)



4E 秋本 賢優
(島原工業)



4E 江口 善久
(長崎工業)



4E 合屋 雄基
(福岡工業)



4I 高木 隼
(玉名工業)



4I 橋本 和樹
(小川工業)



4C 井元 純平
(三池工業)



4C 丸山 直子
(福岡工業)



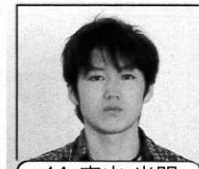
4A 青山 湧輝
(博多工業)



4A 黒田 竜太郎
(長崎工業)

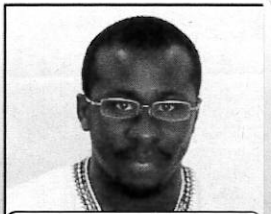


4A 坂本 幸誠
(長崎工業)



4A 森山 光明
(博多工業)

新入留学生紹介



3A ジェイジェイ
トウイナマシコ ジョナサン

私はジェイジェイと申します。ウガンダから参りました。去年の4月に来日しました。1年間東京で日本語を勉強しました。今年の4月に有明高専の建築学科に編入しました。

ウガンダは東アフリカにあり、赤道直下です。海はありません。隣(西)にケニアがあります。自然が豊かであり、世界で1番長い川のナイル川の源流、世界で3番目の大きい湖のヴィクトリア湖がウガンダにあります。ウガンダの気候はイクエトリアル気候であり、1年中暖かいです(16℃～29℃)季節は雨季と乾季の2つです。暖かい気候のおかげでおいしい果物と野菜がよく育ちます。民族はたくさんおり、それぞれの文化と言葉が違います。公用語は英語です。

小さいころから建築家になりたかったです。ウガンダで建築を勉強する機会がなかったので、日本で建築を勉強できることを嬉しく思います。私の夢を叶えるように頑張っています。みなさんどうぞよろしくをお願いします。



5M カマルル
カマルルアリツフィンビンアドゥルガニ

はじめまして、マレーシアから来ました、カマルルと申します。5月に福島高専から有明高専に転校しました。5年機械工学科です。

自国は東南アジアにあります。日本から飛行機で7時間かかります。マレーシアは暑い国ですが、住みやすいと思います。有名な海がいっぱいあり、とてもきれいで、シュノーケリングなどができます。それから、たくさん美味しい食べ物があります。お勧めはナシレマツで、ココナッツミルクを加えて炊いたご飯です。小魚などのおかずとあわせて食べます。ちょっと辛いですが、とても美味しくて、一番人気です。それだけでなく、もっと面白いものがありますので、ぜひマレーシアにきてください。

ここでいっぱい友達を作りたいと思います。有明にきたばかりなので、分からないことが多いので、よろしくお願いします。

留学生歓迎会

4月12日(火)

高専新入留学生歓



JJ君のあいさつ

平成23年度の留学生歓迎会が4月12日(火)、修己館(食堂)にて開催されました。今年度はジェイジェイ(JJ)君がウガンダから有明高専にこられました。歓迎会では、校長先生始め諸先生方からの温かい歓迎のあいさつや、吹奏楽部による「上を向いて歩こう」の演奏、JJ君のスピーチや母国の紹介がありました。JJ君が所属する3Aの学生もたくさん出席してくれて、軽食を取りながら、JJ君を囲んで和やかなひと時を過ごしました。彼の流暢な日本語にも感心しましたが、笑顔と礼儀正しさにも感銘を受けました。今後JJ君が元気で充実した高専生活を送ってくれるよう祈念しています。

(国際交流委員長 安部 規子)



JJ君によるウガンダのプレゼン



会の様子



会の様子

新任教職員紹介

本年度新たに赴任された10名の教職員の方々に、次の4つのことをうかがいました。

Q1: 本校に来る前は? Q2: 高専あるいは本校学生の印象は? Q3: 趣味は? Q4: 抱負を一言



建築学科 准教授 鎌田 誠史

- A1: 神戸芸術工科大学大学院の教員をしていました。ニュータウンのマスタープランや住宅デザインなどの実践的な研究をしていました。
- A2: 学習環境としては良いのではないのでしょうか。
- A3: 旅に出ることです。特に古い集落を訪れることが好きです。
- A4: これからの日本の技術を支える人材育成において、自身の持てる力をすべて投入するつもりです。



電気工学科 助教 清水 暁生

- A1: 佐賀大学大学院に在学し、集積回路に関する研究を行っていました。
- A2: 高校と大学が混じり合ったような、不思議な印象を受けました。また、素直な学生が多いと思います。
- A3: ヨットでしたが、有明高専では乗ることができないため、他の趣味を探しているところです。
- A4: 様々なことに挑戦し、そこで得た知識・経験を学生に伝えていくよう頑張りますので、よろしくお願いします。



物質工学科 助教 近藤 満

- A1: 出身は九州ですが、京都に本社を置く受託研究機関で、丸9年間、研究を行っていました。
- A2: 最終面接に来た時からの印象ですが、元気よくあいさつをしてくれます。また、高専より編入した大学時代の後輩がいますが、切り口の違う考え方を持っていると思います。
- A3: サッカー観戦です。京都在住の時は、京都サンガを応援しに西京極競技場に何回も足を運びました。今年からは、ロアッソ熊本、アビスパ福岡も共にサポートを続けていきたいと思っています。
- A4: 予測できないことが起こる世の中においても、ユーモアとアイデアをもって乗り越えていくような人材を育てていくことができたらと考えています。また、企業経験もありますので、学生のサポートに活かせればと思います。高専での生活を通じて、自分自身も成長できればと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



事務部長 田島 英三郎

- A1: 大分大学財務部資金管理課長でした。
- A2: 有明高専職員として新規採用していただき、約30年ぶりに故郷(社会人としての原点)に帰ってきましたが、校舎・グラウンド等はきれいに整備されており、周りの環境を含めて教育に最適な学校と思います。また、学生達のあいさつが徹底されており、エネルギーが満ちあふれていると感じました。
- A3: スポーツです。昔は、バドミントン・ソフトボール・バレー等をやっておりましたが、現在は、年齢のことを考えてゴルフが主です。
- A4: これまで築かれた有明高専の伝統を守りつつ、優れた技術者(職業人)の育成のため精一杯努力してまいります。



総務課 総務課長 池田 純久

- A1: 熊本大学人事・労務ユニット長(人事担当)でした。その前は本校の学生課長でした。
- A2: 高専坂を、朝、引き締まった顔で、夕、和やかに登り下りする学生の姿が印象的です。また、建物の表示、校内・グラウンドの整備等、きれいに整ったイメージがあります。
- A3: 昔の映画、TVドラマを鑑賞し、懐かしがっています。以前のように山歩きを復活させたいと思っています。
- A4: 学生がより良い環境で勉強にスポーツに励むことができるようにと思っています。



総務課 総務課長補佐 月岡 信隆

- A1：熊本大学の財務ユニット（課）で、決算を担当しておりました。
 A2：素晴らしい環境にキャンパスがあることと学生諸君が大変元気がよいことです。
 A3：野球やラグビー等スポーツをすることが好きですが、現在はもっぱら観戦のみです。
 A4：有明高専では、私の子供も以前に学生としてお世話になっております。本校のために少しでもお役に立てるよう尽力したいと思っております。



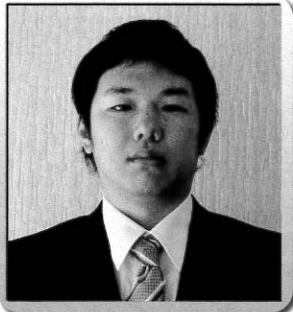
学生課寮務係 堀江 久仁代

- A1：熊本大学医学部保健学科で、3年間教務関係の仕事をしていました。その前は有明高専で16年、総務・会計・学生課でいろいろな仕事をしていました。
 A2：大学から戻ってきたばかりなので、高専の学生は幼い感じがします。かわいいです。
 A3：娘たちが暮らす長崎・神戸の街を1人で歩き回るのが好きです。
 A4：初めての寮務係なので、寮生のために頑張りたいと思います。



総務課企画情報係 巖島 えり子

- A1：熊本県立大学総合管理学部の情報管理コースに在籍していました。ゼミでは、教育情報工学を学んでいました。
 A2：学生が自ら元気にあいさつしてくれるのが新鮮で、素晴らしいと思います。また、校内には緑が多く、爽やかな気持ちになります。
 A3：動物と触れ合うことが好きです。家では柴犬を飼っており、休日には犬と一緒に出かけることが多いです。
 A4：慣れない仕事で足手まといになっておりますが、一日でも早く仕事を覚えて、有明高専のお役に立てるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。



学生課教務係 木下 貴博

- A1：大学に在籍し、法律を学んでいました。
 A2：美しい桜に囲まれた、素敵な学校だと思いました。これまで高専とは縁がなかったので、いつも新鮮な気持ちで通勤しています。
 A3：サッカーをするのが趣味ですが、現在はロアッソ熊本の試合を観るのが趣味になっています。他にもNFLやNBA、MLBなどの海外スポーツの中継を見るのも好きです。時間があるときは家電量販店巡りをしています。
 A4：ご迷惑をかけてばかりですが、素晴らしい職場に恵まれたことに感謝し、一所懸命がんばります。



学生課寮務係 山本 加代子

- A1：専業主婦でした。
 A2：寮生が元気のいいあいさつをしてくれることに感激しました。
 A3：読書、美術鑑賞、花の栽培。
 A4：まだ慣れないことが多く、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、寮生にとって楽しく充実した生活を送ることができるよう手助けできたらいいな、と思っています。

転出職員紹介

平成22年3月末で転出された職員の方についてお知らせします。

今村 文昭

総務課長 → 鹿児島工業高等専門学校総務課長

小川 英利

総務課課長補佐(財務担当) → 九州工業大学会計課専門員

川村 里絵子

総務課総務係 → 九州大学工学部等総務課人事係

本校は、2013年に創立50周年を迎えます。そこで、同窓会より提供していただいた写真等を元に、今号より、短期集中のシリーズとして、本校の50年の歩みを振り返ります。今回は特集として、初期の頃（昭和38年から約15年間分）を取り上げます。なお、現在、創立50周年記念事業実行委員会が立ち上がり、50周年に向けて、様々な記念事業を企画中です。今後、それらについてもアナウンスして行きます。



昭和38年4月1日、有明工業高等専門学校（機械工学科、電気工学科、工業化学科）が設置され、4月20日、荒尾市増永の仮校舎で開校。

仮校舎前での体育の授業



昭和39年3月：一般科目棟、管理棟、寮若葉棟竣工
 昭和40年3月：電気工学科棟、工業化学科棟、機械実習工場、寮青葉棟竣工
 昭和41年3月：機械工学科棟、体育館、寮紅葉棟竣工
 昭和43年4月：建築学科増設
 昭和44年3月：建築学科棟、寮銀杏棟竣工
 昭和47年2月：図書館棟竣工



若葉棟竣工



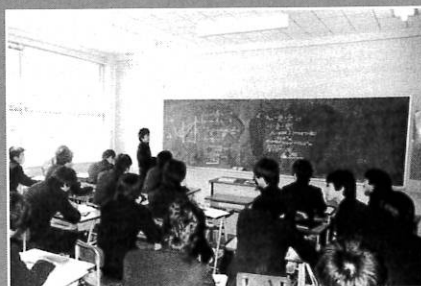
昭和40年頃



昭和43年7月撮影



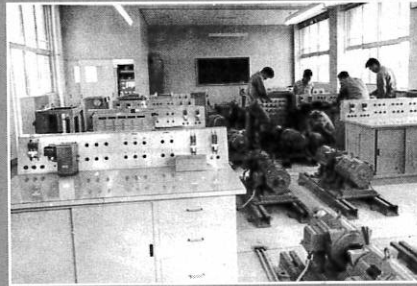
昭和47年頃



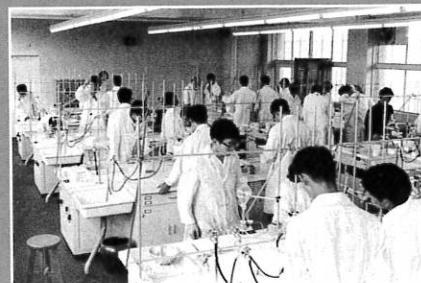
一般科目授業



実習工場



電気工学科実験



工業化学科実験



建築学科製図



卒業研究発表会

4年生 研修旅行

5月17日(火)
~20日(金)



機械工学科

IHI マリンユナイテッド横浜工場
新日鐵君津工場
海洋研究開発機構横須賀工学センター
資生堂鎌倉工場

4M 諸隈 昇平



私たちが今回研修で訪れた企業は、IHIマリンユナイテッド横浜工場、新日本製鐵君津工場、海洋研究開発機構横須賀海洋工学センター、資生堂鎌倉工場です。どの企業も初めて見る技術や現場ばかりで、驚いてばかりでした。

IHI、新日本製鐵、資生堂では製品の製造だけでなく、環境問題に対する取り組みも目立ちました。プラスチックや紙のリサイクルを工場内で行っており、更に新日本製鐵においては製造時に発生する熱までも収集して発電に利用したりして、目から鱗でした。

海洋研究開発機構横須賀海洋工学センター、通称

「JAMSTEC」では、有人海底探索機械の「しんかい 6500」を見てきました。その名のとおりに深海6500mまで潜れるこのマシーンは、まるで幼い頃夢見た冒険を具現化したようなものでした。

最後に、この研修旅行での一番の楽しみであった一日自主研修ですが、皆それぞれ行きたい場所に行くことができました。私も初めての東京だったので興奮していましたが、事故等に遭うことなく無事に帰ってくることができました。

電気工学科

NHK 放送センター
東芝浜川崎工場
日産自動車横浜工場
日本航空羽田整備工場

4E 江口 晃哉



私たちは、日本の中心である東京都、首都圏の一角である神奈川へ行きました。1社目のNHKでは、あの地デジの先駆けとなる研究・開発を行っていたと聞いて、印象がとても良い方になりました。2社目の東芝浜川崎工場では、変圧器を設置するために必要とされる面積の縮小に力を入れてありました。そのために、使用される空気より絶縁性の高いSF6というものが印象強く残りました。3社目、日産自動車横浜工場を見学しました。ここでは、作業

に対する工夫をたくさん見る事ができました。4社目、JALと日本航空羽田整備工場へ行き、飛行機がなぜ飛べるのか、飛行機の構造はどうなっているのかなど知ることができました。

今回の研修を通して、どの会社にも共通するものを見つけてことができました。それは、私たちに話をしてくれた方々全員が自分の会社に自信を持って胸を張っている姿でした。私もそう思える会社に就職したいと思います。

電子情報工学科

キヤノンファインテック
富士通川崎工場テクノロジーホール
東芝科学館

4I 山崎 月子



私たち電子情報工学科は、キヤノンファインテック・富士通川崎工場・東芝科学館に行きました。

キヤノンファインテックでは電子写真技術などについて学びました。ここでは工業用のプリンタ等を見学し、実際に社員の方から志望動機や待遇についてなど就職関連の興味深いお話を伺いました。富士通川崎工場ではコンピュータの歴史や最新技術について見学しました。特に50年以上前に製造されたリレー式計算機が稼働する様子や、1秒間

に1京(10^{16})回計算することのできるスパコンが印象に残っています。東芝科学館では環境についてのお話を伺った後で館内を見学しました。特に温暖化に関するお話はとても興味深かったです。

今回の研修は震災の影響で見学することのできない場所・節電している場所などがたくさんあり、震災の影響を肌で感じる事となりました。今回の研修で学んだことを生かし、将来について考えていきたいと思います。

物質工学科

明電舎
シンガポール・ポリテクニク校

4C 原田 瀬理香



私たち物質工学科は、研修旅行でシンガポールを訪問しました。

観光では、初めてシンガポールの町並みを目にしたり食事を味わったりしながら、シンガポール独特の文化を体感しました。

工場見学では明電舎を訪れました。そこで働いておられる人の話を聞けて、ためになることが多くありました。

また、シンガポールポリテクニクの方々との交流会がありました。英語しか通じない中、うまく交流が図れるか不安でしたが、相手からは楽しく話かけてくれました。意思疎通のためにはまだまだ英語の勉強を要しますが、話そうという気持ちを大事にしたいと思いました。

レポートなどもあって忙しい中の研修だったにも関わらず、大いに楽しみ、色々なことを学ぶことができました。

建築学科

海遊館
大阪国際平和センター
法隆寺・薬師寺・東大寺
竹中大工道具館
北野異人館
人と防災未来センター

4A 角田 雅季



私たち建築学科は、今回の研修で大阪・奈良・京都・兵庫へ行きました。行く前は、長い4日間になるだろうと思っていましたが、実際は短くて中身の濃い4日間になりました。

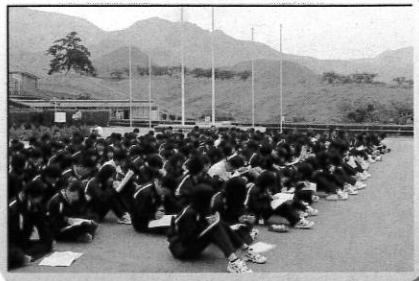
初日の現代建築の見学では、現在取り組んでいる設計の授業の課題である集合住宅に取り入れたいと思えるような発見がありました。2日目の寺院建築では、日本建築史の授業で学んでいたおかげで、単なる観光とは違った、深みのある見学となりました。3日目の自主研修では、おの

のルートで、大阪・京都の建物はもちろん、町並みや住んでいる人々の雰囲気にも触れることができました。最終日の“人と防災未来センター”では、自然災害の恐ろしさを知るとともに、建築を通して私たちも自然災害に立ち向かいたいと思うようになりました。

今回の研修旅行で、建築と人との関わりが密接であることを再確認できたので、これからは自ら進んで建築にもっと関わっていこうと思いました。

新入生阿蘇オリエンテーション

5月16日(月)～18日(水)



阿蘇研修を終えて

1M 坂本 琢磨

私は入学してから阿蘇研修が始まる前までは、中学生生活から高専生としての新生活の変化にあまりついていけませんでした。それは、高専の勉強は中学のころみたいな感じでやっていけると思っていたり、大学受験がないから自由気ままに生活できると思っていたからでした。しかし、この阿蘇研修で、今までの軽い気持ちでは高専ではやっていけないことに気づかされました。

いろんな先生の講話を聞いて気づいたことは、まず、卒業生の活躍によって、高大一貫教育の高専生はさまざまな人に期待されているということです。他には、先生があまりいろいろ言わないかわりに、自分でやらないとすぐ留年や退学につながるということです。これらのことから、義務教育を終わった学生であることを自覚し、チャレンジ精神を持ち「みそあじ(みだしなみ、そうじ、あいさつ、じかん厳守)」の利いた学生に、これからなっていこうと思います。

ハイキング等の各活動は、阿蘇の自然を満喫して、とてもさわやかな気分になったとともに、仲間とゴールを目指してがんばることの楽しさを改めて感じました。

部屋での生活はとても楽しかったとともに、寝具の整理・整頓や班長としての部屋の清掃等、集団生活する上での常識も学びました。

このように、様々なことを思い出として頭の中において、これから生活していきたいと思っています。

新入生オリエンテーションの感想

1A 大段 和花

阿蘇研修を終えて、私は精神的に成長したと思います。成長したと思える理由は阿蘇研修で大きく4つのことを学んだからです。

一つ目は、時間についてです。この研修では、ご飯もお風呂も就寝も時間が決まっていました。自分一人が遅れるとクラスみんなや学年全体に迷惑をかけることになるので、この研修では、常に時間を気にして動くことができました。それと、時間に間に合うためには、10分前行動が大事だから、10分前に次の行動に移れるように準備しました。

二つ目は、あいさつについてです。この宿泊施設には、有明高専以外の人にもたくさんいました。そのため、知らない人でもすれ違う時に気持ちのよいあいさつをしなければいけないので、最初は嫌だったけど、今では全ての人に気持ちのよいあいさつをすることができるようになりました。

三つ目は、他人との関わりについてです。ここは家ではなくみんなで協同生活する場所なので、ご飯の時間が長かったり、夜遅くまで起きていたり騒いだりすると、他人への迷惑がかかります。だから、私はこの研修を通して、他人にも目を向けたり、自分の行動を振り返るようになりました。

四つ目は、友達との協力についてです。この研修の二日目のオリエンテーリングでは、班の4人で協力しながら、ポイントを集めて進みました。誰かがきつそうにしていると、みんなで休みをとり、歩くのに邪魔になるバインダー等の荷物は、みんなでお互いのことを思いやり自ら進んで持ちました。そのため、ポイントをたくさん集められた喜びはとても大きかったです。

このように、この研修では大きく4つのことを学びました。いろいろ大変なことや、不便なこともあったけど、すごく成長できた研修になってよかったです。



2年生研修旅行

混合学級クラス編成の2年生は、「教養を高め、社会性を身につける」と「クラスの親睦」を目的に、九州国立博物館とその周辺の見学の研修を行っています。

九州国立博物館（バックヤードツアー）について

●九州国立博物館のバックヤード見学ツアーが一番印象に残った。ボランティアの皆さん方の丁寧な説明で、普段とは違った角度から博物館の裏側を見学することができた。その中でも特に、文化財の修復施設が見られ、文化財の保存のためにしているさまざまな仕組みを知ることができたことがとても良かった。

●博物館の裏側を見ることができて、とても勉強になった。僕は建築学科なので博物館の構造や免震装置のことなど専門分野の話を聞けてとても面白かった。今まで博物館という建物はデザインを重視して設計されていると思っていたけど、災害の時に展示物を守るための免震装置、展示物の保存状態を良くするための空調システムなど、設備の機能面にとても力を入れて設計されていて感心した。

●先日、東日本大震災により耐震設備に興味をもったが、その点では心配なく、様々な工夫が施されていて、震度10の地震でも来ない限り大丈夫だろうということだった。文化財も精密で大切に保管されていたことがわかり安心した。

博物館常設展示について

●地元が近いこともあって、常設展はもう何度も訪れたことがあったが、何度見ても心惹かれるものがある。あそこが自分の中では一番間近に歴史を感じられるところだからだと思う。中には実際に触れたりできるものもあり、五感を使って歴史と戯れることができるというのは、とても魅力的だった。

●常設展示で一番興味を持ったのは、久留米絣着物「夢花火」という作品です。これは1995年に松枝哲哉さんによって作られた作品で、夏に筑後川で打ち上げられる花火をイメージしているそうです。リズムよく瞬く花火と川の流れの曲線はとても素晴らしいかったです。計算しつくされ染め分けられた絣の組み合わせと、丁寧な手織り技術の結集した作品だったと思います。

●外国から来た人のために、パンフレットも7カ国分あり、それぞれ韓国語、中国語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、日本語があった。各地域のおみやげがたくさん売ってあった。おみやげはお菓子だけでなく、ミュージアムグッズもあった。

太宰府天満宮本殿について

●本殿は今までに僕が見た神社のうちで一番大きく他の神社と格が違うような感じがした。参拝者は平日にもかかわらずたくさんいらっしやっていて、中には外国の方も多かった。日本の文化が外国の人にも伝わっていることが日本人として嬉しく思った。

●太宰府天満宮は菅原道真をまつっており、学問の神としてあつく信仰されている。受験の時はお世話になった。日本人はあらゆることに神様がいて考えるが、人を神として信仰することは珍しいのではないかなと思う。

天目茶碗について

●戦国時代のお茶の文化が盛んな時に使われていた茶碗で、一個で城ひとつと同じくらいの価値があると聞きとても驚いた。九州国立博物館にあったのは重要文化財の油滴天目だったが、もっとも価値のある天目茶碗もあるらしい。

光明禅寺について

●裏庭には苔で陸を、白砂で大海を表現した「一滴海の庭」、前庭には石を配した「仏光石庭」と九州唯一の枯山水の庭園がある。樹齢300年以上のモミジの樹木が多いらしいのだが、幹はそれほど大きくなく、庭園の雰囲気彩っている。新緑の季節も美しい庭であるが紅葉の季節はもっと美しくなるらしい。



1組：4月19日(火)



2組：4月27日(水)



3組：4月20日(水)



4組：4月22日(金)



5組：4月26日(火)



全体の感想

●いろいろな歴史的文化財を見たり、触れたりすることができてまるでタイムスリップして昔を見ているような感覚を味わうことができてよかった。展示物を見ているとすぐに時間が過ぎてしまったので、またいつかゆっくり見に来たらいいなと思った。天気はあいにくの雨だったけれど、参道等を廻る時はやんでいたし、みんないろいろなことを学んで、感じて、楽しむことができたので行ってよかったと思う。

●全体を通して安全に楽しく旅行を終えることができたので良かった。学科が違う人たちとも話すことができたので、そういう意味でも楽しい旅行になったと思う。今後さらにクラス全体の雰囲気が良くなればと思った。

●九州国立博物館では歴史的に重要な物を後世に残すには大変な努力が必要なんだと驚いた。また、九州に世界的に認められている大きな博物館があることは誇れることだと思った。班別行動では梅ヶ枝餅などをみんなで食べて他の学科の人とも仲良くなれた気がする。研修旅行はこの1年をより良く過ごすための良い経験になったと思う。

専攻科新生1泊研修

4月21日(木)・22日(金)

専攻科の新生同士及び教職員との親睦を深めるため、4月21日(木)・22日(金)に「リフレッシュおむた」で恒例の一泊研修を行いました。研修内容は、例年の如く、2年間のスケジュール説明、自己紹介、校長講話、バーベキューパーティー、懇親会、2日目に単位履修の説明、YOCASOLと大牟田エコタウンを見学して、15時過ぎに帰校しました。今年は昨年と違い、天候に恵まれ、久しぶりにのびのびとしたバーベキューパーティーができ、そのせいか、校長に話に来る学生が多かったそうです(後日談)。懇親会は昨年同様、ノンアルコール状態でしたが、今年の

特徴は学生諸君が学科毎にまとまり、他学科の知り合いが少なかったようです。これをきっかけに早く交流して欲しいものです。校長講話では「人には Incentive Study Term がある。今がその時、猛烈に勉強せよ。」と温かい叱咤激励がありました。今回初めて、この2日間を専攻科委員の氷室・吉田先生に担当していただきましたが、これまでと違い、時間どおりに消化できました。両先生をはじめ、何度もあいさつしてくれた学生代表の松藤君、買い出し担当の貝原君、西川君、松田君、平山君、佐々木君、お世話になりました。(専攻科長 北岡 敏郎)



これ高くないか



意外とおいしいね



I・S・Tとは・・・



懇親会は静かに!



見学の前に記念写真



う～ん、ペットボトルがね～

新生歓迎行事

4月15日(金)

学生会長 5M 秀山 文彦

4月15日(金)に、毎年恒例の新生歓迎行事が行われました。

この行事は新生が在校生に向けて自己紹介やパフォーマンスをするもので、新生は学校や各学科の雰囲気を知る良い機会になったのではないのでしょうか。私自身も1年生のときに経験しましたが、振り返ってみると大勢の先輩方の前で自己紹介やパフォーマンスはとても緊張しました。しかしその時、晴れて有明高専機械工学科の一員になれた気がしてとても嬉しかったです。今回、新生の皆さんも緊張したと思いますが、この緊張感を乗り越えたことは自分自身の財産となり、これからの自信につながると思います。そして、高専生活を楽しんで、まずはあいさつを通して多くの人とコミュニケーションをとるように頑張ってください。

また、今年は2年に一度の体育祭が10月23日(日)に控えています。体育祭では学科の絆、団結力が不可欠となります。一人ひとりが学科の一員であることを自覚し、体育祭が成功するように共に頑張らしましょう。

最後に、東日本大震災の義援金募金にご協力していただき、ありがとうございました。



M科



E科



I科



A科



C科

岱明寮だより

寮務主事補 下田 誠也

寮生指導者研修会
in 岱明寮

4月3日(日)、寮生指導者研修会が银杏棟研修室にて行われました。寮生会役員をはじめ、寮務主事室、寮務委員、寮務係の合計39名が参加し、寮生遵守事項の確認、寮生会からの要望、主事室からの提案、重点目標や寮の運営方針について、意見交換を行いました。



充実した研修を終え、満開の桜と共に

入寮式

4月6日(水)12:00より、視聴覚室にて入寮式が行われました。1年生71名、4年次編入生9名、3年次留学生1名の合計81名の入寮許可の後、校長・保護者会副会長よりあいさつがありました。入寮オリエンテーションでは、寮務主事あいさつ、寮生活についての説明、寮生会役員の紹介がありました。

今年度の重点目標

**過ごしやすい環境を
持続させよう**

寮長 鈴木君より、今年度の岱明寮の重点目標が寮生総会で発表されました。



入寮許可

寮務主事のあいさつに
耳を傾ける新入寮生

寮生活についての説明

新入寮生歓迎夕食会

4月7日(木)、寮食堂にて新入寮生歓迎夕食会が行われました。新入寮生81名が在寮生の拍手に迎えられて入場しました。

校長あいさつ、出席教職員の紹介の後、会食が始まりました。その後、新入寮生の自己紹介が行われました。



新入寮生の入場



1年生が元気に自己紹介



4年次編入生の自己紹介

春季球技大会

5月26日(木)

体育局長 4M 中川 陽平

5月26日(木)に春季球技大会が行われました。
当日の雨により、室内での競技となりましたが大いに盛り上がりました。

優勝は全て4年生と5年生だったので、次回の冬季球技大会では3年生以下のクラスも優勝できるように頑張ってください。

最優秀クラス	5C
優秀クラス	5M

	優勝	MVP
バレーA	5M	河内 拓也
バレーB	5C	小松 将大
女子バレー	5C	田島 愛
卓球	4M	堀 寛芸



男子バレーボールA



男子バレーボールB



最優秀クラス 5C



女子バレーボール



卓球

卒業式・修了式

3月16日(水)

平成23年3月16日(水)、本校第1体育館において、第44回卒業式および第9回専攻科修了式が行われました。

本科では、機械工学科37名、電気工学科36名、電子情報工学科31名、物質工学科37名、建築学科33名の卒業生に「準学士」の学位期が授与されました。専攻科では、生産情報システム工学専攻18名、応用物質工学専攻6名、建築学専攻6名が修了し、JABEE 認定プログラム修了証書、学位記が授与されました。その後、校長による告辞、来賓の大牟田市長および荒尾市長による祝辞、学生会長の 4M 秀山文彦君による送辞および卒業生・修了生代表の 5E 松尾衛君による答辞等がありました。

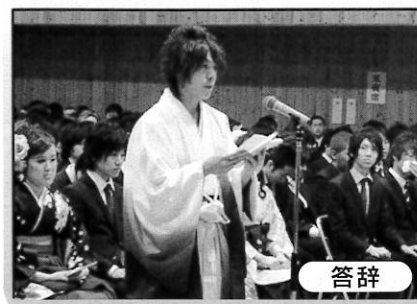
卒業生および修了生の皆さんのこれからのご活躍を祈念いたします。



校長告辞



証書授与



答辞



卒業式後の様子

学生表彰

	成績優秀賞	学会賞
機械工学科	吉開 成伸	吉開 成伸 (日本機械学会畠山賞)
電気工学科	西川 和孝	坂井 久徳 (電気学会九州支部長賞)
電子情報工学科	下河 希恵	福山 翔平 (電子情報通信学会九州支部長賞)
物質工学科	荒木 美帆	荒木 美帆 (日本化学会九州支部長賞)
建築学科	江藤 紅音	江藤 紅音 (日本建築学会九州支部長賞)

卒業生・修了生の進路

機械
工学科

NEC ネットズエスアイ	王子板紙	オーレック	九州電力
京セラ	ユニカミナルビジネスソリューションズ	JFEスチール西日本製鉄所	新日本製鐵
第一精工	東洋新薬	トヨタ九州	長崎キヤノン
西日本旅客鉄道	日本たばこ産業	日立フィールドアンドファシリティサービス	P&G
福岡多田精機	本田技研工業	マキシス工業	三菱重工業
メタウォーター	ヤクルト	ヤンマー建機	ユニバーサル造船
有明高専専攻科	豊橋技術科学大学	熊本大学	佐賀大学
長岡技術科学大学	宮崎大学		

電気
工学科

旭化成	栄電舎	王子板紙	大阪ガス
鹿島クレスウエスト	関西電力	九州グリコ	サミー
第一精工	電気化学工業	東燃ゼネラル石油	東レ
東洋新薬	TOTO ウォシュレットテクノ	日本メックス	久光製薬
P&G	福岡空港エンジニアリング	福岡県国民健康保険団体連合会	富士ゼロックス
富士通九州システムズ	ヤクルト	ユニバーサル造船	
有明高専専攻科	豊橋技術科学大学	佐賀大学	

電子情報
工学科

エステナイン京都	NTTコムウェア九州	オムロンリレーアンドデバイス	木村情報技術
九州電力	熊本工機	KDDI テクニカルエンジニアリングサービス	末松九機
スタンレー電気	大電	トヨタプロダクションエンジニアリング	KCC モバイルエンジニアリング
日立メディコ	富士通九州システムズ	三松	
有明高専専攻科	豊橋技術科学大学	熊本大学	佐賀大学
九州工業大学	鹿児島大学	北九州市立大学	

物質
工学科

九州木材工業	熊本製粉	三光	昭栄化学工業
昭和産業	武田薬品工業	チッソ	東燃ゼネラル石油
東洋新薬	トクヤマ	ニシヨリ	日東電工
日本イットリウム	日本触媒	日本ミルクコミュニティ	日立化成工業
富士ダイス	ブリヂストン化成	三井化学分析センター	矢部川電気工業
有明高専専攻科	豊橋技術科学大学	熊本大学	佐賀大学
筑波大学	東海大学		

建築
学科

あい設計	AK 企画	NTT ファシリティーズ九州	大林組
大牟田市役所	オムニ設計	清水建設	ジョンソンコントロールズ
新菱冷熱工業	ダイダン	竹中工務店	辰巳開発
中国木材	東レ建設	西松建設	日本オーチス・エレベーター
原田木材	福岡市役所	防衛省	松尾建設
有明高専専攻科	豊橋技術科学大学	熊本大学	大分大学
山口大学	The Art Institute of California-Los Angeles		

専攻科

生産情報システム工学専攻	応用物質工学専攻	建築学専攻
オムロン阿蘇	旭化成	映像システム
協和機工	九検	大林組
村田機械	サントリー	TAK-QS
ユニバーサル造船	ニシヨリ	熊本大学大学院
熊本大学大学院	日東電工	千葉大学大学院
九州工業大学大学院		
関東化学		
日本IBM		
明電舎		
九州大学大学院		
北九州市立大学大学院		
東北大学大学院		

学生表彰

平成22年度1年間皆勤賞

1M	1E	1I	1C	1A	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5
17名	16名	12名	25名	14名	9名	11名	3名	15名	10名



シンガポール・ポリテクニク訪問

有明高専—シンガポールポリテク交流プログラムの一環として、3月17日(木)～26日(土)の10日間、学生15名と教員2名でシンガポールに行ってきました。2泊3日のホームステイに始まり、シンガポールポリテク校のクラブ活動(ビートボクシング、アーチェリー、ロッククライミング)体験や博物館等の見学など、勉強から遊びまで多くの貴重な経験をしてきました。皆さんもいろんな発見をしに交流プログラムに参加してみませんか?

(国際交流委員 坪根 弘明)



コンペ入選

名古屋工業大学エネルギー・環境教育研究会主催の「高校生のための『エネルギーと環境』コンペティション2010」において、設計・デザイン部門(テーマは「いこちのいいすみか」)で、3A(現4A)の荒木理沙さんと江口舞さんの2名が入選しました。

(広報室 松岡 高弘)



授業参観、後援会総会

5月2日(月)午後より、授業参観(5・6限)、後援会総会(7限)およびクラス懇談会(8限)が行われました。多くの保護者の皆様にご出席いただきました。ありがとうございました。

(広報室 坂西 文俊)



防災避難訓練

6月14日(火)、防災避難訓練が行われました。7限終了のチャイムと同時に、地震発生、その後、火災発生という想定のもと、全学生と教員がグラウンドに避難、集合しました。

グラウンドでは、消火器の操作の説明を聞いた後、各学科に分かれて、学生・教職員の代表数名ずつによる実際の消火作業を見学しました。

(広報室 坂西 文俊)



編集後記

東北地方を襲った大震災から3ヶ月、この間みなさんは遠く離れた地で暮らす同世代の仲間のことを考え、時として涙し、時として自分を奮い立たせてきたのではないのでしょうか。

このような決して明るい状況とはいえない中で、みなさんの若く強い精神と、確かな技術に期待が集まっています。しかし、このことについて重荷に感じることも、不安を抱くこともありません。ただ、これまであらゆるものから守り育ててくれたご家族、勉強だけでなく社会の厳しさをも教えてくれた先生方、いつも励まし側にいてくれる友人。それら全ての人々に感謝し、そして高専での5年間で精一杯学び、生きること、おのずとそれらの力は備わってくるはずです。

最後に、先のことは誰にもわかりませんが、明るい未来を作るのは一人ひとりの努力と笑顔だということを忘れず、日々の生活を大切に過ごしてください。

(広報室 中園 洋子)

有明高専だより 第134号

平成23年6月27日

編集：有明高専広報室

発行：有明工業高等専門学校

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150

TEL 0944-53-8861 (学生課)

http://www.ariake-nct.ac.jp/

花咲く技術を-Here are Lights-



創立50周年(2013)